

【クマ編】知ってて役立つ奥日光知恵袋

初めに

これからなるべく出会いたくない奥日光に住む動物たちについて紹介します。
その動物たちはもともと奥日光に住んでいて、私たちが彼らの住む場所へお邪魔していることを理解してください。

ここで紹介する動物のほとんどは人間を怖がり、自分から敵意をもって人に近づいては来ませんが、自分たちに危険と判断すれば攻撃してきます。

そして、その動物たちが人に危害を加えたら・・・人により**駆除**されます。

これからご案内することは、自分の身を守るだけではなく、人の都合で理不尽に駆除される動物を少しでも減らすために必要な知識です。どうぞ頭の片隅に置き留めて奥日光ハイキングをお楽しみください。

ツキノワグマ

ツキノワグマ。私は見たことはありません。
見た人の話によると、遠目で見るとかわいのですが近くで見ると生命の危険を感じるようです。

とはいえ、ツキノワグマも奥日光の住人。
近くでばったり出会わないようにその生態からご紹介します。

【身長・体重】 1.2m～1.5m オス80～130kg メス50～80kg

あれ？思ったより小さい・・・もしかして勝てるかも！と思わないでください。
戦ったらほぼ確実に負けます。

【特技】 木登り・穴掘り・水泳

木にも登れるし、泳ぎも得意、クマの方が足が速い。
正々堂々戦っても負けたとなれば、一体どうしたら？

【特徴】 首の下にV字又は三日月型の斑紋がある

わあほんとに斑紋がある～かわいい♪と言っている余裕はありません。
怖いもの知らずで近寄ったりせず、適切な対応をとって下さい。

【五感】 目は悪く、嗅覚と聴覚が優れている

嗅覚と聴覚で周辺を感じているなら・・・
どのような場所が危ないか想像してみてください。

【武器】 爪・牙

爪や牙を使われる状況になったら一大事！
そうならないように、またそうなってしまった時の対応を知っておいてください。

【食性】 雑食：どんぐり、柿などの木の实、昆虫、動物の死骸

どんぐりや柿、木の芽、昆虫、動物の死骸などを食べます。また、人の残した残飯も食べます。
一般的なツキノワグマはライオンやトラのように生きている哺乳類に対して狩りをする動物ではありません。
クマに会ったら【死んだふり】というのは完全に嘘。エサのふりをしたらクマは当然寄ってきます。

【性格】 臆病・内気・ときどき強気

臆病で内気な熊は基本的には人の気配を感じると逃げていきます。
ただし、子供が周囲にいる場合や、周辺にエサ（動物の死骸など）がある場合などは攻撃的。

【活動時間】 早朝・夕方

積極的に活動する時間は、早朝と夕方。
ハイキングの工程は危険な時間帯を避け、十分に余裕を持って立ててください。

クマは人を襲うの？

下記の日撃情報は報告のあった件数ですので、実際にクマを見た人の数は数倍になると思います。
にもかかわらず、人身事故0件ということは**【奥日光には自発的に人を襲うクマはいません】**。
不幸な偶然が何重にも重ならないと奥日光のクマは人を襲いません。

目撃情報の件数		H26. 8	10件
H26. 5	4件	H26. 9	32件
H26. 6	7件	H26. 10	15件
H26. 7	30件	H26. 11	2件

参考：日光湯元ビジターセンターHP



人身事故0件

次では、合わない為の予防・会ってしまった時の対応をご案内します。

【事例】

私を知っている限り、奥日光でのクマによる人身被害で最も近いのは2012年10月。幸い、人の命に係わる事故ではなかったのですが、十分な準備をしていたとは言えなかったようです。

- ・熊鈴をつけていなかった。
- ・一人で行動していた。
- ・早朝の時間に行動していた。

どこまで正しい情報かは不明ですが、【熊鈴をしていたら】【時間をずらしていたら】不幸な偶然は重ならなかったのではないのでしょうか？

ちなみにこの事故の後、熊2頭が**駆除**されました。

【事故に合わない為の予防が一番大切】

- 普段みなさんは自転車に乗る時に、
- ・左右をしっかりと確認しましょう。
 - ・万一の事故の為に、ヘルメットを着用しましょう。
 - ・傘さし運転は止めましょう。
- このような予防をして自転車に乗っていますよね。

クマによる事故を防ぐ為には予防が必要です。
次はどうすればクマによる事故を減らせるか？その方法を説明します。

これだけで、クマ対策の9割9分完了！

- 熊鈴で自分の場所を知らせる。
- 同行者との話に夢中にならず、周囲の物音に注意しながら歩く。
- 川辺は水の音で足音や藪をかき分ける音が消され、臭いも流れてしまうので特に周辺に気を配る。
- 雨の日も要注意。音も臭いも気づきにくくなるので、雨天時スケジュールの準備する。
- 早朝・夕方の薄暗い時間に活発に行動するので、明るい時間帯で活動できる余裕を持ったスケジュールをたてる。
- 香水や香りの強い化粧品、シャンプーなどは、クマの興味を惹いたり刺激を与える可能性があるので付けない。
- 人が食べ物を持っているクマに思わせない為、生ごみ・空き缶・ペットボトル等のゴミは必ず持ち帰る。
- 一人で行動しない。班行動の時はみんなでまとまって行動する。

【クマに会ってしまったら】

初めにこれからご紹介する対策は、【すべての状況において正解の対応ではない】ことをご承知下さい。
出会った状況、クマの気分・性格等で【**正解は変わります**】ので、状況によりご判断ください。

遠くで見つけたとき

- 100m以上離れていて、こちらに気が付いていない場合。
 - 落ち着いてその場を離れる。
- 100m以上離れていて、こちらに気づいてはいるが無視している場合。
 - 走らず、くまの動きに注意しながらその場を離れる。
- 100m以上離れているが、こちらに近づいてくる。
 - 大きく手を振り、穏やかに話しかけこちらに人がいることを気が付かせる。

中距離でクマに会った場合(10~50m)

- 立ち上がり、周辺を見渡し鼻をヒクヒクしている場合。
 - 何かいるとは気付いているが、人間の存在に気が付いていない状態。
ゆっくり両手をあげ体を大きく見せ、穏やかな声で話しかけこちらに気付かせる。
- こちらに気が付いてもその場を離れない場合。
 - 近くにエサがある・子熊がいるなど、その場所に離れない理由がある可能性があります。
ゆっくり両手をあげ体を大きく見せ、穏やかな声で話しかけながら、クマから目を離さずゆっくり後退。
決して大声で騒いだり、走って逃げたりしない。
可能なら間に立木など障害になるものを間に入るような場所に移動し後退。
- 熊が興奮して突進行動してきた場合。
 - 多くの場合は威嚇突進行動「ブラフチャージ」です。
クマには、突進して突然止まり後退する。これを繰り返すブラフチャージという習性があります。
慌てず上記の対応で後退を試み、その場から離れてください。
また、クマ撃退スプレーを持っている場合は風向きを確認し、発射の準備をする。
※この時、大声をあげ逃げたりすると威嚇行動が本当の攻撃にかわる場合があるので、絶対に落ち着いて行動すること。

突発的な遭遇。(10m以下)

- クマが突然の遭遇に驚き立ち上がる。又は立ち止まる。
ゆっくり両手をあげ体を大きく見せ、穏やかな声で話しかける。また、近くに立木がある場合にはクマとの間に入るような場所に移動し後退。とはいえ、なかなか落ち着いて行動できないと思います。実際はこちらが驚いて立ちすくんでいると、クマが慌てて逃げていくことが多いようです。
※この時、大声をあげ逃げたりすると興奮させ攻撃してくるかもしれないので、落ち着いて行動すること。

攻撃された場合(5~0m)

- 熊の接近が分っていた場合。
ブラフチャージが残念ながらブラフでなかった場合、最後の手段として風向きを確認してクマ撃退スプレーを使用してください。

- 攻撃された場合。
突発的な遭遇の場合、防衛的な攻撃で短時間で立ち去る事が多いので、倒れこみ両足を抱えこみ首の後ろで手を組み首を守る。
この時抵抗すると余計興奮させるので抵抗しない。
攻撃を受けていないのに防御姿勢をとると、興味を持ち近づいてくることもある。